

## 平成 24 年度 風の子保育園 事業計画

### 風の子保育園のめざすもの（運営理念）

- ① 子ども達が自然の中でのびのび育つことのできる保育園  
集団の中で一人一人が大切にされ、自主性と社会性を見につけ豊かな感情と思考力の発達をめざした保育を！
- ② 産休明けから就学まで、年齢・障害・保育時間を問わず、保育を必要とする子ども・保護者・の立場に立った保育の創造をめざそう！
- ③ 父母・職員・後援会・地域住民が、一つになって、皆でつくり皆で育て地域から愛される保育園に！
- ④ 子ども・父母・職員の立場を大切に、皆の財産である保育園を民主的に運営しよう！
- ⑤ 保育をめぐる様々な要求を大切に、その一つ一つを子どもと保育を必要とする父母の立場に立って、実現できる保育運動を進展させよう！

### 事業計画

子ども・子育て新システムの間取りまとめがだされました。また、これまでの学校教育・保育・家庭における養育支援を提供する施設の名称を「総合施設」から「総合子ども園（仮称）」とするとなりました。今後政府は、新システム関連法案を提出し、社会保障・税一体改革関連法案と連動して成立をめざしています。今後の保育制度変革への危機感を署名や学習会をとおして、学びながら保護者に伝えていきたいと思ひます。

新規採用職員 4 名を迎え、新たな職員集団作りと新園舎での「一人ひとりの育ちを大切にしよう」（保育理念）をどのように実践していくのかを求められる年であると思ひます。園児 121 名（最大 126 名）を受け入れた保育を行っていきます。

#### ① 職員の体制づくりと保育、給食の充実

全体体制：経営体制・運営体制・保育リーダー体制

昨年に引き続き、経営体制、運営体制、保育リーダー体制のもと行ひます。事務体制は園長・副園長の複数体制をはかります。保育については、現園舎、仮園舎、新園舎の 3 年を見越した体制をクラス主任（保育リーダー）中心に行ひていますが、その 3 年目となります。

新規採用職員 4 名を迎え、保育観を一致させるためにも全職員で学習の場が必要だと思ひます。

そのための研修を位置づけていきたいと思ひています。仮園舎の環境から学んだことを新園舎で生かし、職員の連携を大切にしながら、職員集団作りを行ひていきます。

新しい建物のなかで、保育実践・給食実践を行ひていきます。

そのために保育方針、保育目標をだし、実現していくために目の前の子どもの姿

と子どもの発達の姿を結びつけて考え、方向性をだすことを乳児、幼児、給食で具体的にしていきます。

② 経営問題

新園舎になっても経営問題（園児数の減に伴う運営費・補助金収入の減少とそれに伴う人件費支出の増）については、定期的に会議をもちたいと思います。

計画的な研修と超過勤務については引き続き行っていきたいと思います。

③ 地域活動について

地域担当職員を配置し、採算の合う形で行っていきたいと考えていますが、今年度は新たな形づくりの1年目です。0歳児の受け入れ数が多いこともあり、無理のないよう行っていききたいと思います。

一時預かりについては今までの緊急の枠を外し、柔軟に受け入れを行うことを考えています。

また、地域事業においては、園庭解放や今まで行っていた取り組みについても新しい建物になり地域の皆さんの期待も大きいこともあり、運営会議で話し合いながら形づくりを行っていく1年と考えています。

④ 新園舎になり、在園生・卒園生・退職職員・保護者などを含め「新園舎を祝う会」を行いたいと思います。

4月29日（日）建設委員・卒園生・保護者・退職職員など関係者

5月19日（土）在園生とその保護者